



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 セーレン株式会社 上場取引所 東

コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>

代表者(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 業務統括本部長 (氏名) 勝木 知文 TEL 0776-35-2111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	38,686	19.0	4,117	41.5	4,616	16.2	3,505	12.3
2024年3月期第1四半期	32,508	5.2	2,908	△0.5	3,973	6.9	3,121	15.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 6,792百万円(34.0%) 2024年3月期第1四半期 5,069百万円(△27.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	63.51	56.92
2024年3月期第1四半期	58.27	50.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	189,520	129,521	67.8	2,323.29
2024年3月期	187,458	124,689	66.0	2,234.88

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 128,493百万円 2024年3月期 123,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	23.00	—	30.00	53.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,000	3.6	15,500	10.2	16,500	1.8	12,200	0.4	220.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	64,633,646株	2024年3月期	64,633,646株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,326,967株	2024年3月期	9,309,939株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	55,206,585株	2024年3月期1Q	53,575,094株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となったものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績は、売上高386億86百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益41億17百万円（同41.5%増）、経常利益46億16百万円（同16.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益35億5百万円（同12.3%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として過去最高となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業は、国内自動車メーカーの生産停止の影響を受け、受注が減少しました。しかしながら、高付加価値商品が伸張するなど商品構成の変化があり、減収・増益となりました。

海外事業（2024年1～3月）では、北米においてカーシート表皮の売上が増加し、東南アジアにおいてもカーシート表皮及びエアバッグの売上が増加しました。また、各拠点における品質改善や経費削減活動が功を奏し、増収・増益となりました。

その結果、車輛資材事業としては、増収・増益となりました。

当事業の売上高は267億83百万円（前年同期比30.9%増）、営業利益33億73百万円（同59.5%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

アウトドアを含む海外向けアウター素材加工やインナーアパレル及びファッションアパレルが好調に推移しました。KBセーレン㈱においては、不採算商品の販売縮小により売上は減少したものの、販売価格の見直しにより増益となりました。また、Saha Seiren Co., Ltd.におけるアパレル事業の構造改善が影響し、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。

当事業の売上高は52億13百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益2億88百万円（同44.8%増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

モバイル端末向け新規商材の売上が増加したとともに、車載モニター用の商材が順調に推移した一方、ゲーム機関連商材の売上が好調であった前年の反動により減少しました。また、人工衛星事業において、ロケット打ち上げ計画変更の影響を受け、人工衛星の納入が延伸し、売上・利益が減少しました。

その他、KBセーレン㈱においては、ワイピングクロス「ザヴィーナ®」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みましたが、セーレンKST㈱においては海外向けSOIウェーハや薄膜加工が順調に推移しました。

当事業の売上高は24億77百万円（前年同期比横ばい）、営業利益は3億36百万円（同14.3%減）となりました。

(環境・生活資材事業)

病院・介護向け新規商材が立ち上がり、環境対応ラミテクト商材の売上が順調に推移したものの、高付加価値商材が伸び悩みました。KBセーレン㈱においてはティーバッグ用途の「ベルカップル®」の需要回復がみられたものの、民生資材が一部客先の在庫調整の影響を受け、伸び悩みました。その結果、環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は23億29百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は1億77百万円（同34.7%減）となりました。

(メディカル事業)

人工血管基材が順調に推移したとともに、KBセーレン㈱において貼付材の売上が増加しました。なお、一部商材を本事業からハイファッション事業にセグメント変更を行ったことにより売上・利益が減少し、メディカル事業全体としては減収・増益となりました。

当事業の売上高は16億96百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は1億74百万円（同8.3%増）となりました。

(その他の事業)

㈱ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事㈱の保険代理業が堅調に推移しました。

当事業の売上高は1億85百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は1億46百万円（同36.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して20億61百万円増加の1,895億20百万円となりました。流動資産は、現金及び預金が減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産や有価証券が増加し、前連結会計年度末と比較して16億77百万円の増加となりました。固定資産は、投資その他の資産が減少した一方、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったことにより有形固定資産が増加し、前連結会計年度末と比較して3億83百万円増加しました。負債の部は、借入金の返済や新株予約権付社債の転換などにより、27億69百万円減少し、599億99百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で48億31百万円増加し、1,295億21百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は312億11百万円となり、前連結会計年度末より63億33百万円減少しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、15億38百万円の収入（前年第1四半期連結累計期間は35億77百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益46億26百万円、減価償却費14億8百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、55億23百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は20億11百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10億2百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出39億18百万円などによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、36億31百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は15億26百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出16億59百万円、長期借入金の返済による支出12億56百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期においては、車輛資材事業が回復したことや為替レートが円安に推移したことなどのプラス要因がありました。今後の見通しにつきましては、世界的なインフレや中国景気の減速、為替動向等、先行き不透明な要素が多いことから、2024年5月13日に公表しました連結業績予想を据え置きます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,612	38,461
受取手形、売掛金及び契約資産	39,273	43,255
有価証券	3,317	4,841
商品及び製品	14,835	15,084
仕掛品	4,316	4,679
原材料及び貯蔵品	7,472	7,845
その他	4,268	4,606
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	117,083	118,761
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	26,026	26,566
機械装置及び運搬具（純額）	13,858	14,071
工具、器具及び備品（純額）	545	568
土地	13,048	13,146
建設仮勘定	1,855	1,929
有形固定資産合計	55,334	56,283
無形固定資産		
のれん	477	437
その他	3,019	3,096
無形固定資産合計	3,497	3,534
投資その他の資産		
その他	11,650	11,047
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	11,544	10,941
固定資産合計	70,375	70,758
資産合計	187,458	189,520
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,676	21,798
短期借入金	2,061	5,046
未払法人税等	2,807	2,244
賞与引当金	1,705	710
その他	9,425	8,668
流動負債合計	36,676	38,468
固定負債		
新株予約権付社債	10,322	9,893
長期借入金	6,517	2,276
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	—	106
退職給付に係る負債	6,406	6,356
その他	2,726	2,778
固定負債合計	26,092	21,530
負債合計	62,769	59,999

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	18,032	18,114
利益剰余金	85,359	87,205
自己株式	△13,223	△13,561
株主資本合計	107,688	109,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,288	4,110
為替換算調整勘定	11,405	14,859
退職給付に係る調整累計額	259	244
その他の包括利益累計額合計	15,953	19,215
新株予約権	502	465
非支配株主持分	544	561
純資産合計	124,689	129,521
負債純資産合計	187,458	189,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	32,508	38,686
売上原価	23,817	28,285
売上総利益	8,691	10,400
販売費及び一般管理費	5,782	6,283
営業利益	2,908	4,117
営業外収益		
受取利息	165	232
受取配当金	86	116
為替差益	381	248
補助金収入	369	93
その他	73	58
営業外収益合計	1,076	749
営業外費用		
支払利息	4	69
有価証券評価損	—	178
その他	7	3
営業外費用合計	12	250
経常利益	3,973	4,616
特別利益		
固定資産売却益	15	11
特別利益合計	15	11
特別損失		
固定資産処分損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	3,987	4,626
法人税等	847	1,100
四半期純利益	3,139	3,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,121	3,505

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	3,139	3,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	409	△177
為替換算調整勘定	1,525	3,460
退職給付に係る調整額	△5	△15
その他の包括利益合計	1,929	3,267
四半期包括利益	5,069	6,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,039	6,767
非支配株主に係る四半期包括利益	29	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,987	4,626
減価償却費	1,243	1,408
固定資産処分損益 (△は益)	△13	△10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△805	△995
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	41	△71
受取利息及び受取配当金	△251	△348
支払利息	4	69
為替差損益 (△は益)	△586	△704
売上債権の増減額 (△は増加)	990	△2,508
棚卸資産の増減額 (△は増加)	978	△177
仕入債務の増減額 (△は減少)	△554	299
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△103	5
その他	△238	1,316
小計	4,691	2,909
利息及び配当金の受取額	229	304
利息の支払額	△5	△74
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,338	△1,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,577	1,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,105	△1,002
有形固定資産の売却による収入	15	82
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△14	△3,918
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	500
定期預金の純増減額 (△は増加)	△898	△1,183
その他	△8	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,011	△5,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△276	△1,256
自己株式の取得による支出	—	△707
配当金の支払額	△1,231	△1,659
非支配株主への配当金の支払額	△5	△7
その他	△12	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,526	△3,631
現金及び現金同等物に係る換算差額	624	1,282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	663	△6,333
現金及び現金同等物の期首残高	34,141	37,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,805	31,211

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	20,463	5,238	2,476	2,346	1,765	32,290	84	32,374	—	32,374
その他の収益	—	—	—	—	—	—	134	134	—	134
外部顧客への 売上高	20,463	5,238	2,476	2,346	1,765	32,290	218	32,508	—	32,508
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	16	28	5	3	53	151	205	△205	—
計	20,463	5,255	2,504	2,351	1,769	32,344	370	32,714	△205	32,508
セグメント利益	2,115	199	392	272	160	3,139	106	3,246	△337	2,908

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車輛資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	26,783	5,213	2,477	2,329	1,696	38,500	53	38,554	—	38,554
その他の収益	—	—	—	—	—	—	132	132	—	132
外部顧客への 売上高	26,783	5,213	2,477	2,329	1,696	38,500	185	38,686	—	38,686
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	20	42	33	5	102	148	251	△251	—
計	26,783	5,234	2,520	2,363	1,702	38,603	334	38,938	△251	38,686
セグメント利益	3,373	288	336	177	174	4,349	146	4,495	△378	4,117

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車輛資材……………自動車・鉄道車輛等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及びサブ
ライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第1四半期連結累計期間348百万円、当第1四半期連結累計期間380百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。